

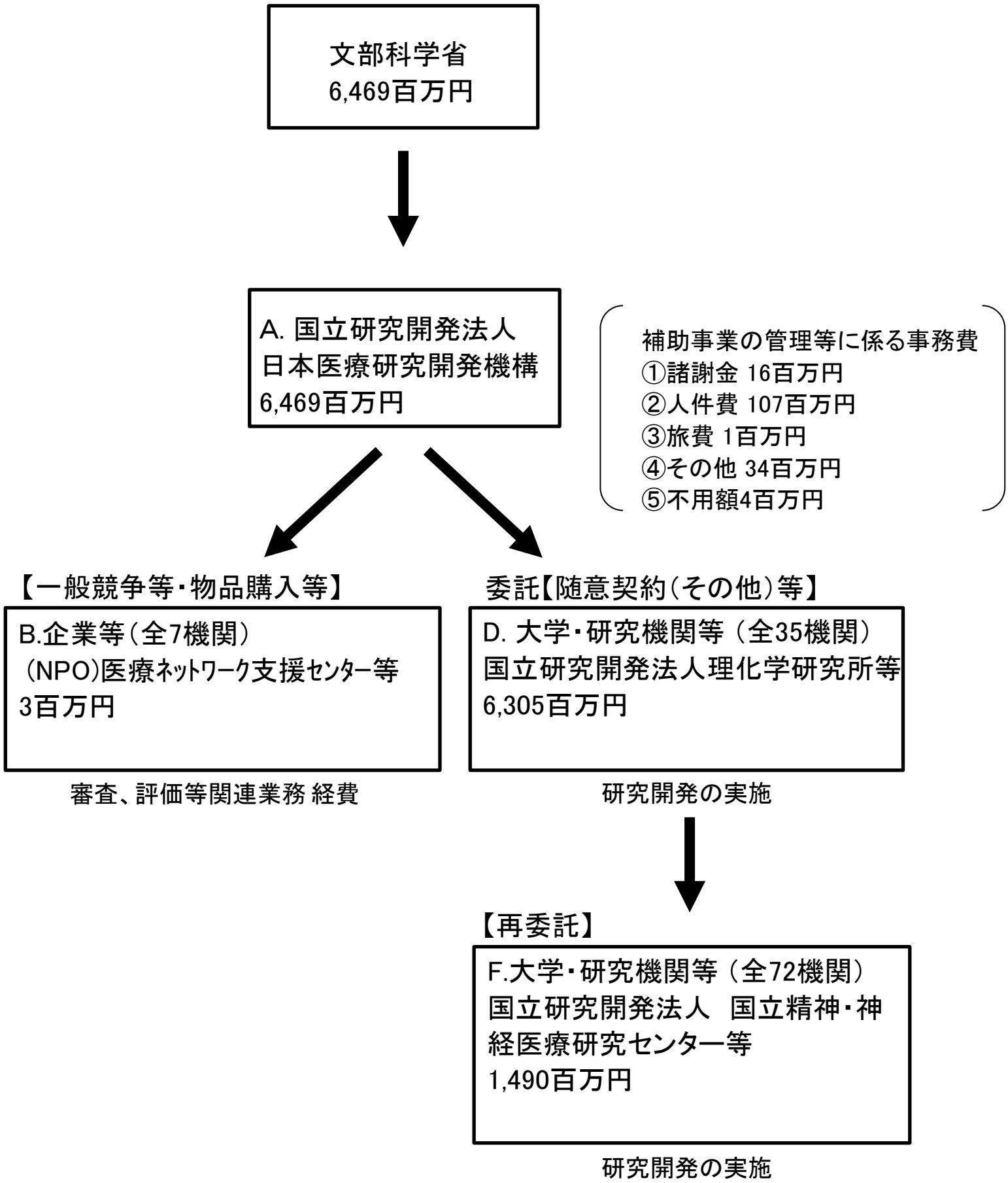
事業番号2023 - 文科 - 22 - 0293

令和5年度行政事業レビューシート				(文部科学省)			
事業名	脳神経科学統合プログラム			担当部局庁	研究振興局	作成責任者	
事業開始年度	平成26年度	事業終了 (予定)年度	令和11年度	担当課室	ライフサイエンス課	ライフサイエンス課長 釜井 宏行	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	健康・医療戦略推進法 国立研究開発法人日本医療研究開発機構法			関係する 計画、通知等	健康・医療戦略(第1期:平成26年7月閣議決定、平成29年2月一部変更、第2期:令和2年3月27日閣議決定)、医療分野研究開発推進計画(第1期:平成26年7月健康・医療戦略推進本部決定、平成29年2月一部変更、第2期:令和2年3月27日健康・医療戦略推進本部決定)、「統合イノベーション戦略2020」(令和2年7月17日閣議決定)、「バイオ戦略(基本的施策)」(令和2年6月26日統合イノベーション戦略推進会議決定)		
政策	9 未来社会に向けた価値創出の取組と経済・社会的課題への対応			主要経費	科学技術振興費		
施策	9-3 健康・医療・ライフサイエンスに関する課題への対応						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221215-mxt_kanseisk01-000026547-29.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	平均寿命は年々延びて男女ともに世界最高水準に達しており、1994 年に 14%、2007 年に 21%を超えた高齢化率(65 歳以上人口割合)は、2018 年には 28.1%に達するなどますます高齢化が進展している。総人口が減少する中で高齢化率は今後も上昇が見込まれるとともに、現役世代の減少は加速し、2040 年には現役世代 1.5人で 65 歳以上の者 1 人を支えることになると予想される。加えて、健康寿命も順調に延びており、2016 年には男性 72.14 歳、女性 74.79 歳となっている。健康寿命と平均寿命との差、すなわち疾病などの健康上の理由により日常生活に制限のある不健康期間は、2010 年から 2016 年の間に男女ともに約 0.3 年が短縮されたものの、依然として 10 年近くの期間を占めており、更なる短縮に向けた取組を実施することで、健康長寿社会の形成を目指す。						
現状・課題 (5行程度以内)	平均寿命が延びている中で、健康寿命をさらに伸ばしていくためには、疾患への対応が不可欠である。内閣府「2030年展望と改革タスクフォース報告書」によると、高齢者の7人に1人は認知症に罹患しており、今後更に増加し、それに伴い社会的コストも増加(2030年に約21兆円)していくことが予測されている。このような認知症をはじめとした精神・神経疾患の現代社会が直面する課題の克服に向けて、『社会に貢献する脳科学』の実現を目指すことが求められている。						
事業概要 (5行程度以内)	第2期健康・医療戦略(令和3年4月9日一部変更 閣議決定)、第2期医療分野研究開発推進計画(令和2年3月27日健康・医療戦略推進本部決定)に基づき、「疾患基礎研究プロジェクト」のうち「脳とこころの研究推進プログラム」(令和6年度より「脳神経科学統合プログラム」へ改組)として脳科学研究を推進する。具体的には、マーマセツ等のモデル動物の活用や国際連携等を通じた脳機能解明、様々な精神・神経疾患を対象にした疾患メカニズムの解明等のための研究開発、若手研究者を含めた脳科学分野の人材育成のための将来のイノベーション創出に向けた横断的かつ萌芽的な研究開発等を推進する。						
事業概要URL	https://www.amed.go.jp/program/list/15/01/002.html						
実施方法	補助						
補助率等	国立研究開発法人日本医療研究開発機構が実施する本事業について、当該経費の補助を行うもの【補助率:定額】						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	6,219	6,094	6,094	6,094	9,251
		補正予算(B)	-	-	4,033	1,472	
		令和5年度第1次補正予算				1,472	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	76	-	3,658	-
		翌年度へ繰越し(D)	▲ 76	-	▲ 3,658	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	6,143	6,170	6,469	11,224	9,251
	執行額(G)		6,143	6,170	6,469		
	執行率(%) =(G)/(F)		100%	100%	100%		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/{(A)+(B)}		99%	101%	64%		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)		研究開発推進費		重要政策推進枠 6,043百万円		
		(目)	医療研究開発推進事業費補助金	6,094			9,251
			その他				
	計(A)		6,094	9,251			

活動内容① (アクティビティ)		医療分野の研究開発への応用を目指し、脳機能の解明や、様々な疾患を対象にした疾患メカニズムの解明等のための基礎的な研究開発を行う。これらの研究開発成果を臨床研究開発や他の統合プロジェクトにおける研究開発に結び付けるとともに、臨床上の課題を取り込んだ研究開発を行うことにより、基礎から実用化まで一貫した循環型の研究を支える基盤を構築する。								
↓										
活動目標及び活動実績① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		脳機能の解明や、様々な疾患を対象にした疾患メカニズムの解明等のための基礎的な研究開発課題を支援する	本事業における研究課題の支援件数 ※令和6年度活動見込は、令和6年度予算額に基づき設定するため未記載	活動実績	件	110	110	110	－	－
				当初見込み	件	110	110	110	110	－
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	本事業は、「健康・医療戦略」(令和3年4月9日一部変更 閣議決定)において疾患基礎研究プロジェクトに位置付けられ、基礎研究・応用研究を行うとされている。 研究開発成果を臨床研究開発や他の統合プロジェクトや企業等へ導出するために、国際的に認められるインパクトのある成果を創出する必要がある。このため、本プログラムを通じて創出された、インパクトファクター5以上の科学誌に論文掲載される研究成果を指標として設定する。								
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6 年度	
		研究成果の科学誌(インパクトファクター5以上)への論文掲載数を事業の予算額に応じた目標値※とする。 ※令和4年度は32.1件	研究成果の科学誌(インパクトファクター5以上)への論文掲載数 ※令和6年度目標値は、令和6年度予算額に基づき設定するため未記載	成果実績	件	203	243.3	－	－	
				目標値	件	29.3	27.5	32.1	－	
				達成度	%	693.8	885.9	－	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		「健康・医療戦略」(令和3年4月9日一部変更 閣議決定)に基づく「医療分野研究開発推進計画」(令和3年4月6日一部変更 健康・医療戦略推進本部決定)における成果目標(KPI)(令和6年度までの累積値)を該当事業予算額に応じて按分し単年度ごとに算出。 ※上表年度の集計期間は、データベースからの算出のため1月～12月となっている。 ※成果実績は、n事業で同じ論文を発表している場合、それぞれ1/n件でカウント。 ※R4年度成果実績は、集計中のため未記載。								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	本事業で創出した国際的に認められるインパクトのある成果(科学誌(インパクトファクター5以上)へ論文掲載したもの)を、臨床研究開発や他の統合プロジェクトや企業等における研究開発に結び付けることで、医療分野の研究開発への応用を目指し、基礎から実用化まで一貫した循環型の研究を支える基盤を構築する。								
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 6 年度	
		他の統合プロジェクトや企業等への導出件数を事業の予算額に応じた目標値※とする。 ※令和4年度は0.8件	シーズの他の統合プロジェクトや企業等への導出件数 ※令和6年度目標値は、令和6年度予算額に基づき設定するため未記載	成果実績	件	1	2	－	－	
				目標値	件	0.7	0.7	0.8	－	
				達成度	%	136.7	291.3	－	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		「健康・医療戦略」(令和3年4月9日一部変更 閣議決定)に基づく「医療分野研究開発推進計画」(令和3年4月6日一部変更 健康・医療戦略推進本部決定)における成果目標(KPI)(令和6年度までの累積値)を該当事業予算額に応じて按分し単年度ごとに算出。 ※R4年度成果実績は、調査中のため未記載。								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

[illegible]

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位: 百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.			B.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	補助金	医療分野の研究開発	6,469	役務費	精神・神経疾患メカニズム解明プロジェクト 進捗報告会 運営支援業務等	2
	計		6,469	計		2
	C.			D.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
				物品費	設備備品費・消耗品	229
				間接経費	一般管理費	323
				人件費・謝金	人件費・謝金	545
				その他	外注費・その他・消費税相当額	296
				旅費	旅費	8
	計			計		1,401
	E.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
				物品費	設備備品費・消耗品	38
				間接経費	一般管理費	39
				人件費・謝金	人件費・謝金	57
				その他	外注費・その他・消費税相当額	30
				旅費	旅費	3
	計			計		167
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載					チェック	

支出先上位10者リスト

A.								
	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立研究開発法人日本医療研究開発機構	9010005023796	医療分野の研究開発	6,469	補助金等交付	－	－	－
B								
	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	特定非営利活動法人医療ネットワーク支援センター	2013405000693	精神・神経疾患メカニズム解明プロジェクト 進捗報告会 運営支援業務他、全4件	2	随意契約(少額)	－	－	－
2	有限会社トリプルアイ	5030002120342	オンライン会議運営支援業務	0.5	随意契約(少額)	－	－	－
3	株式会社マックスパート	8010001069555	「マルチセンシング/脳プロジェクト連携会議」会場借上	0.5	随意契約(少額)	－	－	－
4	扶桑速記印刷株式会社	9010001027784	速記及び出張録音・テープ起こし、全2件	0.3	一般競争契約(最低価格)	2	97.3%	－
5	株式会社swimmy	9010001191754	音声データ・テープ起こし、全2件	0.1	一般競争契約(最低価格)	3	75.4%	－
6	株式会社JTB	8010701012863	第4回AMED-MRC日英ニューロサイエンスシンポジウムにおける招へい外国人を対象とする保険業務	0.1	随意契約(少額)	－	－	－
7	株式会社セブーン・イレブン・ジャパン	1010001088181	【会議費】4/16 脳とこころの研究推進プログラム(横断萌芽)	0	その他	－	－	－
D								
	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立研究開発法人理化学研究所	1030005007111	革新的技術による脳機能ネットワークの全容解明他、全7件	1,400	随意契約(その他)	－	－	－
2	国立大学法人東京大学	5010005007398	双方向トランスレーショナルアプローチによる精神疾患の脳予測性障害機序に関する研究開発他、全19件	917	随意契約(その他)	－	－	－
3	国立大学法人京都大学	3130005005532	パーキンソン病発症前から発症後に連続する神経回路病態の解明とトランスレータブル指標の開発他、全9件	509	随意契約(その他)	－	－	－
4	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構	8040005001619	神経変性疾患のタンパク凝集・伝播病態と回路障害の分子イメージング他、全2件	498	随意契約(その他)	－	－	－
5	学校法人順天堂	8010005002330	MAO-B阻害薬[rasagiline]によるパーキンソン病治療効果と神経回路変化についての研究他、全4件	321	随意契約(その他)	－	－	－
6	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター	6012705001563	認知症モデルマーマモセットの産出と評価他、全7件	300	随意契約(その他)	－	－	－
7	大学共同利用機関法人自然科学研究機構	5012405001823	脳科学研究の統合的推進と国際対応に関する事業開発他、全9件	291	随意契約(その他)	－	－	－
8	学校法人藤田学園 藤田医科大学	4180005007630	全ゲノム関連解析を基盤とした精神疾患感受性遺伝子の機能解明他、全5件	279	随意契約(その他)	－	－	－
9	国立大学法人東海国立大学機構	3180005006071	統合失調症と自閉スペクトラム症の多階層情報の統合による病態解明他、全6件	213	随意契約(その他)	－	－	－
10	公益財団法人実験動物中央研究所	9020005009695	神経変性疾患モデルマーマモセット開発と新規発生工学技術の開発研究他、全2件	194	随意契約(その他)	－	－	－

F

[illegible]